

(変更3回、最終) 契 約 変 更 の 内 容

契 約 変 更 年 月 日	令和 7 年 6 月 2 5 日
契 約 業 者 名	アジア建設工業株式会社
契 約 業 者 の 住 所	大阪府大阪市港区築港2丁目8番29号
工 事 の 名 称	浜田港福井地区仮係留施設築造工事 (その3)
工 事 場 所	島根県浜田市熱田町 (福井地区) 地先
工 事 種 別	港湾等しゅんせつ工事
工 事 概 要 (変更した内容)	別紙工事数量総括表のとおり
工 期 (自)	令和 6 年 7 月 4 日
工 期 (至)	令和 7 年 6 月 2 7 日
変 更 前 の 契 約 金 額	1 2 4 , 5 2 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 金 額	1 0 5 , 6 0 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 後 の 契 約 金 額	2 3 0 , 1 2 0 , 0 0 0 円 (税込み)
変 更 理 由	別紙変更理由書のとおり

工 事 数 量 総 括 表

本工事数量総括表は、設計図書として入札・契約時の競争性・透明性を詳細に知らせるための資料であり、完成検査時の確認及び設計変更の対象数量ではない。

工事数量総括表

工 事 名	浜田港福井地区仮係留施設築造工事(その3) (変更3回)					事業区分	港湾整備
						工事区分	岸壁
工事区分・工種・種別・細別	規 格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増△減	摘 要	
仮係留施設							
浚渫工							
浚渫工							
硬土盤浚渫工		m3	593	518	-75	(内訳) 扱い土量 (純土量+余掘) 軟岩 408m3	
海上地盤改良工							
床掘工							
グラブ床掘		m3	3,198	649	-2,549	水深15m未満 649m3	
砕岩床掘		m3	0	2,681	2,681	水深15～30m未満 0m3	
人力床掘		式	0	1	1	水深15m未満 2,105m3	
建設廃棄物等運搬	コンクリート塊	式	0	1	1	水深15～30m未満 576m3	
	廃タイヤ・鉄くず	式	0	1	1		
	改良体	式	0	1	1		
処分費	コンクリート塊	式	0	1	1		
	廃タイヤ・鉄くず	式	0	1	1		
	改良体	式	0	1	1		
土捨工							
土捨工							
土運船運搬		m3	3,791	3,848	57		
揚土		m3	3,791	3,848	57		
土砂運搬		m3	3,791	3,848	57		
土砂処分		m3	3,791	3,848	57		
共通仮設							
共通仮設費							
回航・えい航費							
回航	グラブ浚渫船 (硬土盤 鋼D5.5m3)	式		原契約のとおり			
	土運船(鋼 650m3積)	式	1	0	-1		
	起重機船(非航旋回) D50t吊	式	0	1	1		
運搬費							
建設機械器具等運搬	バックホウ 1.0m3	式	1	0	-1		
汚濁防止膜運搬	汚濁防止膜	式	0	1	1		
事業損失防止施設費							
水質汚濁防止枠		式	1	1	0		
水質汚濁防止膜	処分費	式	0	1	1		
安全費							
安全対策	安全監視船	式	1	1	0		
潜水探査		式		原契約のとおり			
水雷・傷害等保険料							
水雷保険	グラブ浚渫船	式		原契約のとおり			
水雷保険	土運船	式	1	0	-1		
水雷保険	潜水土船	式		原契約のとおり			
水雷保険	起重機船50t吊	式	0	1	1		
傷害保険		式		原契約のとおり			
技術管理							
施工実態調査		式	0	1	1		
諸経費動向調査		式	0	1	1		
ICT活用工事費用		式	0	1	1		
現場環境改善費							
快適トイレ		式	0	1	1		

変更理由書

1. 工 事 名 浜田港福井地区仮係留施設築造工事（その3）

2. 工 期 令和6年7月4日～令和6年9月30日
令和6年7月4日～令和6年11月29日
令和6年7月4日～令和7年6月27日

3. 請 負 金 額 当 初 121,000,000円
変更1回 124,520,000円

4. 変 更 理 由

本工事は、浜田港福井地区仮係留施設の潜水探査工、浚渫工、海上地盤改良工及び土捨工を施工するものである。

- 1) 土捨工、共通仮設：土砂運搬船の変更
土砂運搬で当初想定していた土運船が予定により使用できないことが判明したため、在港調査の結果、起重機船50t吊での運搬・揚土に変更する。
- 2) 事業損失防止施設費：汚濁防止柵のカーテン丈長の変更
カーテン丈長を16m以上に想定していたが、カーテンが潮流に揺られ、グラブバケットと接触する危険性があるため6mに変更する。
- 3) 浚渫工、海上地盤改良工、土捨工：起工測量による土量の減変更
3次元起工測量の結果、現況地盤と差異があることを確認したため、浚渫工・床掘工・土捨工の土量を変更する。
- 4) 貸与物件：作業ヤード面積の増変更
揚土した土砂・発生品の配置検討の結果、土砂仮置きヤードの面積が不足するため、作業ヤードの面積を変更する。
- 5) 海上地盤改良工：砕岩床掘の追加
現地の地盤が当初想定より硬く、グラブ浚渫船のみの床掘が困難なことから、砕岩床掘を追加する。
- 6) 海上地盤改良工：岸壁付近の床掘における施工方法変更
岸壁付近をグラブ浚渫船で床掘することができないため、施工方法を人力床掘に変更する。
- 7) 海上地盤改良工、土捨工：床掘数量の変更
既設岸壁の基礎捨石範囲を考慮し、床掘数量を変更する。また、今後仮係留施設を延伸する際にグラブ浚渫船で床掘できなくなるのを避けるため、床掘数量を増変更する。
- 8) 共通仮設：工期延伸による熱中症対策の補正率の変更
工期末を令和6年9月30日から令和7年6月27日に延伸したため、熱中症対策の補正率を変更する。
- 9) 貸与物件：工事再開に伴う作業ヤードの追加
工事再開に伴い中止前に貸与していた作業ヤードを再び貸与するため、貸与物件を変更する。
- 10) 海上地盤改良工：人力床掘の一部とりやめ
人力床掘の一部について、現場条件により撤去が困難であることを確認したため、撤去をとりやめる。
- 11) 海上地盤改良工、土捨工：床掘数量の増変更
人力床掘を一部とりやめた影響でケーソン据付位置を変更するため、床掘数量を変更する。
- 12) 共通仮設：施工実態調査及び諸経費動向調査の追加
本工事が施工実態調査及び諸経費動向調査の対象となったため、調査費用を追加する。
- 13) 共通仮設：ICT活用工事の費用
ICT活用工事の内容を確認したため、その費用を変更する。
- 14) 共通仮設：標識灯等の引継ぎ
後続工事の施工に伴い、本工事で管理していた標識灯等を後続工事に引継ぐ。
- 15) 浚渫工、海上地盤改良工、土捨工：床掘数量の精算変更
床掘工の数量が確定したため、数量を精算変更する。
- 16) 共通仮設：快適トイレの精算変更
快適トイレの支出実態を確認したため、精算変更を行う。
- 17) 共通仮設：汚濁防止膜等の精算変更
汚濁防止柵カーテン、潜水探査・床掘中に撤去した鉄くず等の処分費用が確定したため、精算変更を行う。